

2023 年度

地域密着型金融の取組状況 ～金融仲介機能のベンチマーク～

2024 年 5 月



2023年度 地域密着型金融取組方針

方針1

事業性評価に基づく伴走支援を強化します

- (1) お客さまと信頼関係を構築し、事業性評価活動を強力に推進します
- (2) 支援態勢の充実を図り、金融仲介機能を強力に発揮します

方針2

くらしに関わる課題解決を強化します

- (1) ライフサイクルに応じた最適な課題解決策を提案します
- (2) 相談態勢の充実を図り、くらしのワンストップデスクを構築します

方針3

地域活性化の中心となり「つなぐ」活動を徹底します

- (1) 多方面との連携を強化し、主体的にまちづくりと経済活性化を推進します
- (2) 金融教育活動や芸術・文化・スポーツ振興に積極的に取り組みます

方針1. 事業性評価に基づく伴走支援を強化します

「資金繰り支援」

中期経営計画の重点施策である「事業性評価に基づく伴走支援を強化する」のもと、お客さまが本業に専念できる環境を構築できるよう資金繰り支援に全力で取り組みました。

【主な取組事項】

- ◇ 営業店と本部が協働し、事業内容を十分理解し課題を共有したうえで、より深く事業者さまに寄り添い解決策を提案する「事業性評価に基づく伴走支援」を強力に推進
- ◇ 資金繰り安定化のため、短期資金の導入や借入条件の見直し等を実施
- ◇ 「旭川しんきんコロナ克服サポート資金(しろくまサポート)」で、本業回復に専念できる体制の構築をサポート
- ◇ コロナ融資先に対し、伴走支援型特別保証制度を活用した支援を実施
- ◇ 日本政策金融公庫と提携し、SDGsの普及・啓発を目的とした「旭川しんきん SDGsサポートローン」を導入(2023年8月から12月までの限定商品)
- ◇ 「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着を図る目的で、「経営者保証に関する取組方針」を新たに制定

◇メイン先（融資残高1位）数・割合の推移

〔単位：社〕

	2022/3	2023/3	2024/3
全与信先	5,396	5,486	5,485
うちメイン先	1,952	2,093	2,101
割合	36.2%	38.2%	38.3%

◇ライフステージ別の融資先数・融資残高

〔単位：社、億円〕

		創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
融 資 先 数	2022/3	591	305	2,379	254	200
	2023/3	629	307	2,278	352	215
	2024/3	626	401	2,414	210	207
融 資 残 高	2022/3	183	143	962	68	117
	2023/3	200	120	988	113	99
	2024/3	198	189	1,024	66	94

●創業期…創業、第二創業から5年まで、成長期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%超、安定期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%から80%、低迷期…売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満、再生期…要管理先・破綻懸念先・実質破綻先(創業期を除く)+条件変更先

◇地域応援ファンド（しろくまファンド関連商品）の実績

〔単位：件、百万円〕

	2021/4～2022/3	2022/4～2023/3	2023/4～2024/3
件数	55	121	116
金額	3,537	6,797	5,996
ニューマネー	3,369	5,943	5,242

→ 2021年度はコロナに対する危機意識から設備投資等に慎重であったが、2022年度以降はコロナに対する意識がやや落ち着いてきたこともあり、設備等を中心に資金需要が回復

◇経営者保証のガイドラインの活用状況

〔単位：件〕

	2021/4～2022/3	2022/4～2023/3	2023/4～2024/3
新規に無保証で融資した件数	828	973	1,997
保証契約を解除した件数	160	127	578
新規融資件数	3,696	4,197	4,492
新規融資件数に占める経営者保証に依存しない融資割合	22.40%	23.18%	44.46%

→ 2023年度は、2023年4月の金融庁監督指針の改正とそれに伴う当金庫の経営者保証に関する取組方針の変更

方針1. 事業性評価に基づく伴走支援を強化します

「創業支援」

創業計画の策定支援や資金計画のアドバイス等、創業に関する幅広いサポートを行っています。

また、毎年「旭川しんきん創業アワード」を開催し、地域の活力を促す事業に果敢にチャレンジしている創業間もない事業者さまの表彰を行っています。



「経営改善・再生支援」

北海道中小企業活性化協議会等とも連携し、経営改善や事業再生支援に積極的に取り組んでいます。

【主な経営改善・事業再生施策】

1. 北海道中小企業活性化協議会を活用した再生支援
2. 北海道中小企業活性化協議会を活用した改善計画策定支援
3. 北海道信用保証協会を活用した経営力強化支援
4. 専門家派遣制度
5. 再生ファンドを活用した再生手法

◇創業支援先数

〔単位：先〕

	創業計画の策定支援	支援内容			
		プロパー融資	信用保証付き融資	政府系金融機関や創業支援機関の紹介	ベンチャーへの助成金・融資・投資
'21/4～'22/3	97	14	83	0	0
'22/4～'23/3	143	13	101	0	0
'23/4～'24/3	118	11	89	0	0

◇創業融資実績

〔単位：件〕

	2021/4～2022/3	2022/4～2023/3	2023/4～2024/3
融資取扱件数	97件	114件	100件

→ 2024/3 期の融資取扱件数内訳は、建設業 22(+5)、飲食業 16(-8)、サービス業 15(+3)、理美容業 8(-7)、介護関連 6(+4)、小売業 6(-5)、不動産業 5(-4)、その他 22(-2)

◇外部機関活用件数

〔単位：件〕

	2021/4～2022/3	2022/4～2023/3	2023/4～2024/3
北海道中小企業活性化協議会（再生支援）	5	3	4
北海道中小企業活性化協議会（改善計画策定支援）	4	4	3
合 計	9	7	7

◇メイン先のうち経営指標が改善した先

〔単位：社、億円〕

	メイン先			うち経営指標が改善した先		
	2022/3	2023/3	2024/3	2022/3	2023/3	2024/3
先 数	1,952	2,093	2,101	1,322	1,565	1,624
融資残高	970	973	970	686	773	786

●経営指標が改善した先＝売上・売上高営業利益率・労働生産性・従業員数のいずれかが増加または悪化した先

◇貸付条件変更先の状況

〔単位：社〕

	条件変更総数	計画1期目未到来先等	好調先	順調先	不調先
2022/3	149	65	11	38	35
2023/3	165	77	14	44	30
2024/3	152	76	9	44	23

●好調先＝売上目標比120%超、順調先＝同80%以上～120%以下、不調先＝同80%未満

方針1. 事業性評価に基づく伴走支援を強化します

「専門家派遣・外部支援機関の活用」

事業承継、販売促進、補助金申請等、事業者さまの持つお悩みについて、外部専門家や外部機関と連携し、ともに解決策を考え、実行しています。

【主な連携事項】

1. 事業承継（親族内外承継、M & A 等）
2. 販売促進（販路開拓、広告宣伝、新商品開発 等）
3. 補助金申請（事業再構築、IT導入 等）
4. 経営改善（財務体質安定化、収益力強化 等）

◇ 専門家派遣件数

〔単位：件〕

	専門家派遣件数	うち、 事業承継	うち、 販売促進他
'21/4～'22/3	215	31	184
'22/4～'23/3	234	24	210
'23/4～'24/3	193	66	127

→ 2022 年度は、保証協会による専門家派遣（経営全般のアドバイス等）が大幅に増加
2023 年度は、事業承継のうち親族内相談件数が大幅に増加

◇ 販路開拓支援先

〔単位：社〕

	販路開拓支援先	うち、地元	うち、地元外	うち、海外
'21/4～'22/3	84	62	21	1
'22/4～'23/3	121	90	17	14
'23/4～'24/3	162	68	66	28

● 地元 = 旭川エリア、富良野エリア

● 販路開拓支援先 = ビジネスマッチング解決先 + 商談会・販売会・駅マルシェ・FOODEX JAPAN 参加先

→ 2021 年度は、駅マルシェが中止となったが東京で 54 社参加の販売会あり。2022 年度からは、駅マルシェが復活。2023 年度は、信金中金を通じた海外販路開拓やフェア出展が増加

「トライアルワークセンター」

期限付きの就業体験を特長とする「トライアルワークセンター」を通じて、求職者と求人事業者のマッチングに取り組んでいます。さらに、外部機関とも連携し、経営幹部や専門人材等を必要とする事業者さまのニーズにもお応えできる態勢も整えています。



求職紹介者数 累計 275 名
職場体験受入数 累計 190 名
就職者数 累計 106 名

(2024 年 3 月末現在)
※ 2020 年 9 月 1 日開設

「旭川しんきん産業振興奨励賞」

「旭川しんきん地域振興基金」が主催する賞で、地域振興に寄与する新製品などを開発した旭川・富良野地区の事業者さまを対象に表彰を行っています。



方針2. 暮らしに関わる課題解決を強化します

「高齢のお客さまへの取り組み」

高齢のお客さまやそのご家族が抱える不安を解消し、ご家族全員が安心して地域でくらしたいけるよう、様々な情報提供や商品提案を実施しています。

【主な取組事項】

- ◇ お客さまの状況に合わせた最適な情報提供(生前贈与の非課税制度、遺言信託等)や商品提案(一時払い終身保険、相続信託等)を実施
- ◇ 社会福祉協議会や包括支援センターと連携し、介護サービスや成年後見制度等の情報を提供
- ◇ ライフステージに関する全般的な考え方や資産運用に関する勉強会を実施し、職員の提案力を強化

「資産づくりへの取り組み」

資産運用の経験やライフステージによって選択すべき商品や運用方法が一人ひとり異なることから、現況を十分にお聞き取りしたうえで、お客さまに合った商品・サービスを提供しています。



「インターネットサービスの拡充」

スマートフォンから登録口座の残高や入出金明細の照会ができる「バンキングアプリ」等、インターネットを通じたサービスの拡充に努めています。



「旭川しんきん結婚相談所 A・YELL(アエール)」

結婚を望む方々に「お相手の紹介から交際までの支援」を通じ良きパートナーとの出会い・結婚へのサポートを行っています。



累計会員 632 名
(男性 299 名、女性 333 名)

在籍会員 277 名
(男性 146 名、女性 131 名)

結婚組数 34 組
(2024 年 3 月末現在)

「マイスターによる勉強会」

業務知識が豊富で優れた応対力を持つ「マイスター」による勉強会を適宜開催し、若手職員の情報収集力や提案能力の向上に努めています。



方針3. 地域活性化の中心となり「つなぐ」活動を徹底します

「包括連携協定締結自治体との交流会」

11月7日、当金庫が包括連携協定を締結している2市11町1村の自治体および上川総合振興局と交流会を実施し、「新大学『旭川市立大学』の理念と目指す方向」、「地域産業の維持・成長・創造のために ～旭川高専の取組紹介～」等についてのセミナーを行いました。



「駅マルシェ」

9月16～18日の3日間、旭川市が開催する「食べマルシェ」と連携し、旭川駅で「駅マルシェ」を開催しました。77事業者様が出店し、旭川駅内外に「食」の市場を出現させました。



「地域のデジタル化推進サポート」

地域企業や自治体のDX支援を手掛ける株式会社CESpaceとの連携やインボイス制度や電子帳簿保存法に対応したウェブサービスの「ケイエール」等を活用し、地域のデジタル化推進をサポートしています。



「旭川しんきんジョイントコンサート」

1月21日、地元の中高校生を文化的に支援し、「音楽のまち旭川」のさらなる発展を応援する目的で「旭川しんきんジョイントコンサート」を開催しました。

